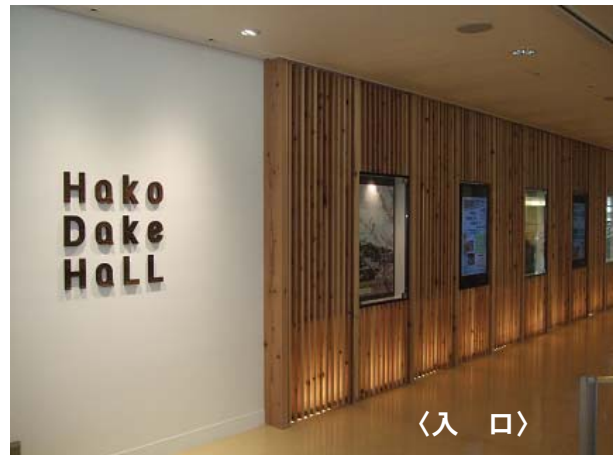


函館空港多目的ホール内装木質化

■所在地	北海道函館市高松町 511 番地	■木材使用量	36.5m ³
■設置者	函館空港ビルテング(株)	■うち地域材	36.5m ³
■構造	内装木質化	■延床面積	353.1m ²
■使用樹種	スギ(ベンチ、デッキ)、トドマツ(天井・壁・ステージ)、カラマツ(羽目板、床下地)		



◆施設の概要

HakoDake Hall (ハコダケホール) は、道産材を活用した北海道らしいあたたかみのある、憩いと安らぎのスペースとして、函館空港国内線旅客ターミナルビル3階をリニューアルした施設です。ホール内にはステージや厨房設備を完備し、各種イベント等を開催する他、屋外には室内からも出入りが可能となる出入口・ウッドデッキを設け、飛行機の離発着や津軽海峡の美しい景色を眺めながら過ごせる、空港ならではの魅力ある空間となっています。

飛行機の利用者をはじめ、地域住民が集う憩いの場や交流の場また、イベントや各種会議・セミナー開催の場などとして、多種多様な活用が期待できる多目的ホールです。

◆施設整備の波及効果

展望デッキを木質化することにより、木育イベント、ワークショップ、コンサート、ピアガーデンなどのイベント開催により、木造施設の持つ温もりや安らぎなど、地域材の良さを多くの方々にPRすることができ、更に広報誌やパンフレットによる広報活動を行い、地域材のPRと利活用の促進を図ります。

◆整備に当たり苦慮した点(函館空港コメント)

木質化ということから施工上の工夫が必要であり、今後長く使用することからも、通常の施設以上にメンテナンスが必要となることを考慮して設計・施工を行いました。

◆利用者の声

「木特有のあたたかみや柔らかさがあり、ぬくもりが感じられる居心地の良い空間。」「地域材活用という地域貢献に繋がる取組が全国に広まると良い。」「空港にこのような施設があったことに驚いた。」などのお声をいただいております。